

交換留学報告書

派遣先	
三重大学での所属学部・研究科	工学部建築学科
学年(出発時)	修士1年
大学名	チェンマイ大学
国	タイ王国
留学期間	2013年 9月24日 ~ 2014年 9月27日
派遣先での身分	学生

一日の生活スケジュール(通学時)	
8:00	
9:00	
10:00	研究
11:00	研究
12:00	研究
13:00	昼食
14:00	研究
15:00	研究
16:00	研究
17:00	研究
18:00	研究
19:00	夕食
20:00	研究
21:00	研究
22:00	研究
23:00	帰宅
0:00	

履修科目				
科目名	時間数/週	履修単位	使用言語	授業内容(レポート、試験、授業形態等)
Specific Reseach in Architecture	1h/2week		English	thesis
Special Program	1h/2week		English	thesis
Critical Practice of Architecture	2.5h/week		English	Report, Discussion, Presentation, Exam
History and Related with Architecture	2h/week		English	Report, Exam
Workshop with Kyoto Institute University	7Days		English	Survey, Group Work, Presentation, Exhibition
Thai Language Class	3h/week		English	Communication

大学のサポート	
チューターの有無	-
チューターのサポート内容	-
語学コースの有無	-
コース名、料金、期間等	-

生活	
住居のタイプ	寮
住居の名前	Engineer Home
部屋タイプ	個室
ルームメイト(国籍)	無し
室内設備	エアコン
共用施設	シャワー、トイレ、洗面所、冷蔵庫、電子レンジ、ポット
インターネット設備	有り
大学までの交通手段(交通機関、所要時間)	徒歩
アルバイトの有無	無し
アルバイトの内容	無し

渡航	
Visaの種類	ノンイミгранトビザ
Visa申請先	タイ国総領事館(名古屋)
Visa取得にかかった日数	一週間
Visa取得にかかった費用	9000円
Visa取得方法、提出書類等	タイ国総領事館(名古屋)のweb siteよりフォーマットをDL
留学先大学の最寄り空港までの経路	20分(車のみ)
渡航費用	往路 53,380円- 復路 62,522円-
ピックアップサービスの有無	チェンマイ大学所有のバスにより送迎

帰国後	
留年や卒業の遅れの有無	一年の留年
有る場合、その理由	チェンマイ大学のカリキュラムの大幅な変更により、授業が受けられなかった
就職活動開始時期	2015/4/1~
帰国後の進路	修士を卒業して企業に就職

留学にかかった費用	
現地通貨=日本円(約)	
保険料(海外旅行保険、国民健康保険等)	19万円(約)
学費(教科書代や語学コース授業料等)	無し
宿舍費(月額)	無し
光熱費(月額)	無し
食費(月額)	3万円
その他	2万円
留学期間中にかかった費用の合計	79万円

感想等(※800字以上で語学勉強の成果についての内容も含め、ご記入ください。)

良い社会勉強になりました。大学の授業を受ける機会に恵まれなかったため、主に研究をして一年を過ごしました。留学の最初の3ヶ月は建築学科に配属されず、土木学科に配属されたことに当初は困惑しました。タイ王国がASEANに加入し、大学カリキュラムの大幅な変更もあり、チェンマイ大学ではほとんど授業は受けられませんでした。そのため、授業に費やす予定であった時間を、研究をする時間にしました。研究室は土木学科の研究室を使わせてもらいました。メンバーは気さくな人ばかりで、とても協力してくれました。チューターこそいませんでしたが、研究室の友達が協力してくれておかげで、研究を進めることができました。渡航して、3ヶ月が経ち、事務手続きを済まして、所属が建築学科に移ると、Dr.Charnnaroneが二週間に一回ほど研究に関して、話し合う機会を設けてくれました。Dr.Charnnaroneはタイの歴史を専門としており、私の研究について有意義な話し合いをしてくれました。先生にはとても感謝しています。一方で所属が最初から建築学科であれば、研究はもっと進められたと思うと、留学制度の充実を双方の大学間でしていただけたら、今後の留学生のためになると思います。また、大学側が留学生に報告会などを設定することで、留学生に留学修了書を渡すカリキュラムを作成してほしいです。これがなければ、留学をしたという証明ができないからです。

日常生活については、とても楽しかったです。友達と一緒にご飯やカフェに行ったり、サッカーを定期的にしたりと充実した毎日でした。夜は一緒にお酒を飲み、友達とより仲良くなりました。タイの人はみんなが旅行好きで、友達と色々な場所に行きました。クーデターが留学中に起こり、街中に軍隊が駐屯するようになりましたが、それは形だけみたいなもので、日常に変化はほとんどありませんでした。

私が留学した期間は、タイのASEAN加入の影響やクーデターなど、例年に比べ、留学がむずかしい時期であったために、通常では経験しないであろうことを多く経験しました。それに伴う苦労もいろいろありましたが、人間として成長するきっかけを得たと思っています。

今後留学する人へのアドバイス

渡航前に、必ず必要な事務手続きを済ませること。担当の先生、チューターの有無、所属など、必ず確認すること。私の場合、チェンマイ大学に確認しましたが、渡航後に紹介すると言われました。これは信用してはいけません。私のような場合は、行き先を変更するなどの検討が必要です。なぜなら、何も決まらずに渡航すると、私のように、過剰な事務手続きなどの本来、留学期間中に行わなくてもいい雑事で余計な時間を使う事になるからです。例えば、学生証の発行を申請しておかなければ、現地に到着しても、大学施設を利用することはできないなど、留学に支障が出てしまいます。従って、渡航前に勉強に必要な事務手続き等が正確にできるかどうかを充実した留学を行う上で、重要なのだと思います。

報告書記入日

2014年10月1日